

肺癌 予防と最新治療

岐阜市民病院 呼吸器・腫瘍内科 澤 祥幸 先生

今、日本では年間約35万人の方ががんで亡くなっていますが、肺がんは男女ともがん死亡の第一位で、毎年8万人が肺がんになり7万人が死亡しています。肺がんの原因の約70%が喫煙とされ、タバコを吸わない方でも受動喫煙によって肺がんの危険がまっています。長年タバコを吸っていると禁煙後でも肺がんになることがあり、いかに若いうちからタバコを吸わないようにするかが予防の第一歩です。また最近では人間ドックや検診に肺がん検診が選べる場所があり、利用したいですね。治療技術の進歩により早期癌では今まで治療が困難であった高齢者にも内視鏡手術や高精度放射線治療(粒子線、定位照射などのピンポイント照射)が可能となってきました。肺がんの原因となる遺伝子異常が解明され、一部の肺がんでは、遺伝子の異常をつきとめ、その異常にあった分子標的薬というお薬に効果があることがわかってきました。まだ遺伝子異常は3種類しか調べられませんが、今後より多くの方に使えるように現在研究が進んでいます。ただ、喫煙者では遺伝子異常が多彩で複雑なため、分子標的薬が使える可能性が少ないので、今すぐタバコをやめるべきでしょう。国民、地域社会全体でタバコをなくすことが最も確実な肺がん予防につながります。

協賛 Meiji Seika ファルマ株式会社
M S D 株式会社
アストラゼネカ株式会社
アステラス製薬株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社
第一三共株式会社

日本化薬株式会社
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
小野薬品工業株式会社
大正富山医薬品株式会社
大鵬薬品工業株式会社
中外製薬株式会社

〈順不同〉